

令和8年5月15日

## 令和8年度 第1回 大阪市立淀中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立淀中学校

校園長名 吉田 健太

日時	令和8年5月15日 19:00～20:00	
場所	大阪市立淀中学校 校長室	
出席者	委員など	高橋 和行 (会長) 坂本 いづみ (委員) 鴻上 圭太 (委員) 西 憲一郎 (委員) 奥田 謙司 (委員) 舘崎 政一 (委員)
	校園	吉田 健太 (校長) 難波 厚之 (教頭)
	区役所	岡 貴之 係長
議題	1. 令和8年度「運営に関する計画」の説明 2. 新年度が始まったの学校の様子 3. 学校運営についての意見交換	
協議要旨	協議の結果	
	議題	<p>・学校長より運営に関する計画での目標設定に関して、説明があり、委員の方に資料を確認していただいた。運営に関する計画に意見を求めるとともに、内容に対する理解を得た。</p>
	意見の概要	
		<p>・芸術鑑賞という文言があるが、淀中学校ではどのような取り組みをおこなっているのか。 →演劇、古典(落語など)、音楽をテーマに毎年、1つずつ外部の団体を学校に招いて実施している。</p> <p>・目標としている数値が全体的に高いが、逆に淀中学校で目標達成が難しい、課題となっていることは何か。 →「主体的・対話的で深い学び」といわれる、今求められている授業形態を取り入れることには課題がある。また、1人1台学習者用端末を積極的に活用する授業にも課題がある。</p> <p>・それはなぜか。 →賛否両論のある考えであることは承知しているが「主体的・対話的で深い学び」を有効なものにするには、それを支える基礎・基本の学力が必要であると考え。そこに課題を抱える生徒の学力保障に最優先に取り組まざるを得ない現状がある。</p> <p>→ICTに関しては、生活指導上の課題から、教員が授業での積極的な活用に躊躇する現状があったことは確か。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度が始まり、子どもたちの様子や学校の状態を説明し、意見交換を行った。</li> <li>・今年度も地域・家庭・学校が連携して協力していくということを確認した。</li> </ul>	<p>→スタディサプリ活用推進モデル校となり、積極的な活用について、教員・子どもたち双方の意識変革を進め、状況を改善したい気持ちは強い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育は大切と考えるが、取り組みの現状はどうなっているか。</li> </ul> <p>→職場体験は行っていないが、それに代わる職業講話・体験を実施している。</p> <p>→今年度は、2年生で、地域の和菓子店と連携し、デザインの立案から製造・販売までの道筋を体験する取り組みを企画中である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体としては落ち着きを取り戻したものの引き続き生活指導上の課題があるという説明があったが、地域としても、有効なかかわりを持ちたいという気持ちは強い。まず、青少年指導員という立場からかかわっていきたい。</li> </ul> <p>→学校としては、生活指導支援員が今年度から配置されており、教員とは違った視点や角度から働きかけを行ってくれており、一定の効果がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強が苦手な自尊感情の低い子どもたちに地域として何ができるかを考えたい。</li> <li>・学校や先生がかかわりを持ってくれている間はよいが、卒業をして、大人とのかかわりが切れた時が心配である。</li> <li>・大人の目が離れない、本人のための進路を見つける支援をしてあげてほしい。</li> </ul>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月15日 第1回 学校協議会 資料</li> <li>・令和8年度 運営に関する計画</li> </ul>	
備考		